

使い方説明書

セット内容

- フェルトパンチャー <1本針> 1個
(レギュラー針がセットされています)
- フェルトパンチャー用 スポンジマット 1個
- フェルトパンチャー替針 <スピード針> 1本
(ケース入り)
- 使い方説明書 1枚

※ 作品づくりには、別売の羊毛「バフワール」が必要です

フェルトパンチャー用 スポンジマット

- マットが針を受け止めるので、針の破損や折れた針の飛散を防ぎ安全に作業できます。
- 針で突いてもへこみにくいスポンジで、作品の表面が毛羽立ちにくくきれいに仕上がります。
- 裏表両面をお使いいただけます。

サイズ
約110×160×40mm

フェルトパンチャー替針<レギュラー針>

様々な用途に使用できるオールマイティな針です。

フェルトパンチャー替針<スピード針>

繊維を絡ませるパーブ(とげ)が、針先に密集しているので、羊毛を短い刺し込みで効率よく固めることができる替針です。

[羊毛フェルトの立体作品]

羊毛をだまかにまとめたり、固めた羊毛の表面に模様・へこみを付けるのに適しています。

[羊毛刺しゅう]

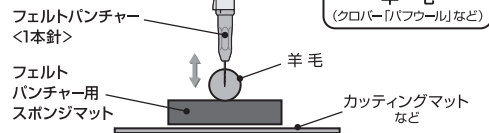
羊毛が布地に速くしっかりと定着するので、曲線や輪郭がラクに表現できます。



注意 安全確保のため取り扱いにご注意ください

羊毛作品の作り方

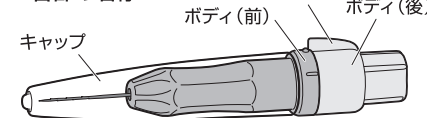
羊毛をフェルトパンチャーで刺すだけ!



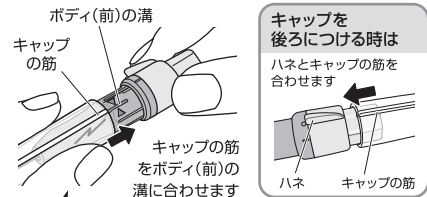
針先は鋭利なため、小さなお子様はご使用にならないでください

フェルトパンチャー <1本針>

<各部の名称>



<キャップの取り付け方>



ご使用にならない時は、必ずキャップをした状態で保管してください

ご使用前に... ※フェルトパンチャーの先端に入っている防錆紙は取り除いてください。針には防錆油が付いています。そのままご使用になると、作品が汚れることがありますので、あらかじめ不用な柔らかい布地に数回パンチングして、防錆油を取り除いてください。

羊毛刺しゅう・アップリケをする場合

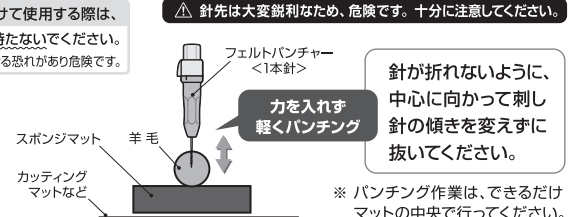
- 繊維が切れやすい布地や、パンチング後に針あとが目立つ布地へのご使用はお避けください。
- 素材や布地の厚さなどにより、羊毛やモチーフのつきやさが異なります。
- 羊毛刺しゅうやアップリケをした布地を洗濯するときは、ドライクリーニングが、ウール用洗剤でやさしく手洗いしてください。

適した素材	羊毛刺しゅう・アップリケをするベースの布地
羊毛 (クロバー「バフワール」など)	普通〜厚地コットン
フェルトシート (ウール50%以上)	中厚〜厚地ウール (フラノなど)
ウール地 ・毛糸	フェルトシート (ウール50%以上)

※ポリエステルなどの化繊は繊維が絡みにくい場合がありますので、事前にお試しください。
※ 繊細な素材(シルク・サテンなど)はお避けください。
※ 布地が硬く、軽い力でパンチングできない時は、布地の種類を選び直してください。

基本的な使い方

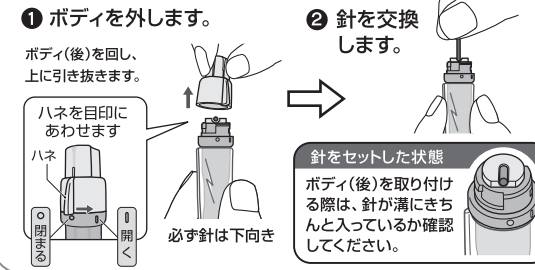
カットングマットなどを敷いた「スポンジマット」に丸めた羊毛をのせて、全体をまんべんなく「フェルトパンチャー」でパンチングし、固めます。



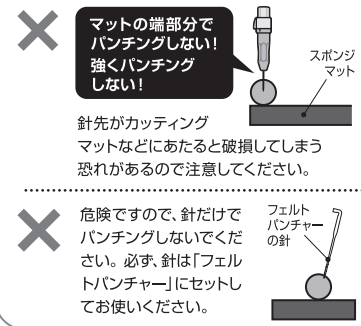
針の交換について

曲がった針をそのまま使用すると折れるので、新しい針に交換してください。

※ 安全確保のため、針の交換は必ずキャップをした状態で行ってください。



針の破損防止のために



使用上の注意

「フェルトパンチャー」を使用する時や針を交換する時は、針先に十分注意してください。(※ 針先は大変鋭利なので誤って指などを刺さないようにしてください)

フェルトパンチャー<1本針>

- フェルティング以外の用途には、使用しないでください。
- 保管の際は、必ずキャップをして、幼児の手の届かない場所に保管してください。
- 本製品を長期間保管する場合は、針の防錆のため、ミシン油を含ませた布地をパンチングしてから保管してください。

針を交換する場合は、別売のクロバー「フェルトパンチャー替針」をお買い求めください。

58-606 フェルトパンチャー替針 <レギュラー針>
58-607 フェルトパンチャー替針 <太針>
58-608 フェルトパンチャー替針 <スピード針>
58-609 フェルトパンチャー替針 <仕上げ針>

フェルトパンチャー替針

<レギュラー針><スピード針>

- 針は鋭利なので、針先に触れないでください。
- 針だけで使用すると、折れて破片が飛び恐れがあり大変危険です。必ず、「フェルトパンチャー」にセットしてから正しくお使いください。
- <スピード針>を、別売のクロバー「フェルトパンチャー<3本針><5本針>」で使用の際は、装着数を1本にすることをおすすめします。本数が増えると布地に刺す際の抵抗が大きくなり、布地を傷めたり針が破損しやすくなる恐れがあります。

フェルトパンチャー用スポンジマット

- ご使用の際は、できるだけマットの中央部を使用してください。「フェルトパンチャー」がマット上から外れると、破損やケガの原因となりますので注意してください。
 - マットには十分な厚みがありますが、刺し方によっては、針がマットを突き抜け、机などを傷つける恐れがありますので、カットングマットなどを下に敷いてご使用ください。
 - 連続で同じ場所を刺し続けると、羊毛がマットに絡んでほぐれなくなる場合がありますので、時折羊毛をはがしながら使用してください。羊毛をはがす際はゆっくりと少しずつはがしてください。
 - 別売のクロバー「フェルトパンチャー<5本針>」には使用できません。針の本数が多いため、刺す際の抵抗が大きくなり、作業がしづらくなったり針の破損につながる恐れがあります。
 - フェルティング以外の用途には、使用しないでください。
 - 高温多湿を避け、暗所に保管してください。
 - 水には濡らさないでください。
 - 紫外線などによって変色することがありますが、使用上問題はありません。
 - スポンジマットは消耗品です。マットが割れてきたらお取り替えください。そのままご使用になると、スポンジの破片が作品に絡んでしまうことがあるのでご注意ください。
- お取り替えの際は、別売のクロバー「58-604」「フェルトパンチャー用スポンジマット」をお買い求めください。